

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	あさがおねっと大和田（放デイ）		公表日 2025年4月1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	国のガイドラインのお子さん一人当たりの基準面積は満たしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	89%	11%	基準により配置しています。 管理責任者 1人 指導員 3人 保育士 1人	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	89%	11%	勉強スペースを設け集中して取り組めるよう工夫したり、玩具は写真で選んでもらい、玩具室への出入りは支援員がしています。	お子さんが安全に過ごせるよう、必要に応じて設備点検や修繕を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	感染症対策として、随時、消毒・換気を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	カームダウン・クールダウン専用の場は設けていませんが、必要な時は誰もいない部屋など利用し落ち着ける場所を確保しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	89%	11%	月1回の事業所会議と管理者会議を行い、報告・問題点など確認し合っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89%	11%	市ホームページで評価、公表しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	月一回の事業所会議を設け意見のを出し合い、検討したり改善につなげています。また1日の流れを周知し確認し合っています。	意見の出し合いがしやすい職場の雰囲気作りを心がけます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	第三者評価機関からの評価は受けてません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	78%	22%	開催される研修を受講したり、事業所・法人内で研修を開催しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	ホームページに公表しております	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	89%	11%	自発管・指導員が観察やケース記録、チェックシート等を使用したり、学校との情報交換をするなどし、お子さんの現在の状況を確認し個別支援計画書を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	個別支援計画書や、必要な場合の見直しなど自発管と指導員全員がケース会議に参加し支援の方向を話し合っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	一人一人の個別支援計画書の支援目標を意識しながら活動を取り入れ支援しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	89%	11%	自発管や指導員が共通のアセスメントツールを使用しお子さんの状況を確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に沿った支援内容を踏まえて個別支援計画書を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	89%	11%	各活動の担当者を毎月決め、立案し、自発管に報告し、全員で内容を確認し実施しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	89%	11%	お子さんそれぞれの発達段階に応じた活動を取り入れるよう工夫しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子さんそれぞれの課題に合った支援方法として、個別指導や集団指導を提案し支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	89%	11%	毎朝ミーティングを設け、当日の予定や利用者の出欠・配慮すること等を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	89%	11%	終礼の時間を設け、振り返りや、気になった事などを話し合います。終礼で全員が揃っていない事もあるので、個別・集団に関わらず共有すべき情報は、業務用lineなどで記録を残し確認し合います。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	89%	11%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	概ね6か月に1度、見直しを行っています。また期間内でも必要が生じた場合は内容の変更を行っています。	引き続きお子さん一人ひとりの発達段階を把握し支援を行います。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	44%	56%	一人一人の特性を理解し、自立できるよう複数組み合わせ活動に取り入れ支援を行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	78%	33%	子どもの話をよく聞きながら、思考に着目し、どう思ったらいい感情が育まれるか一緒に考えいくつかの選択肢やヒントを出し自己決定力の向上に努めている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	78%	22%	管理者や担当指導員が出席し情報を共有しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	78%	22%	相談支援員との情報共有や医療機関への情報提供および支援に対する助言の授受等	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	0%	0%	学校と連携を取り、行事や下校時間の確認等を行い、問題が生じた場合は迅速に対応している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0%	0%	子どもの状況を把握し、必要な場合には連絡をし、共有するよう努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	78%	22%	まだ、放課後等デイサービスを卒業し障害福祉サービスへの移行児童がいないため今は行ってないが、支援内容等の情報の提供は出来る状態である。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	67%	33%	子ども総合療育センターの助言などを受け支援へと繋げられるよう連携を図っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	0%	地域の子どもと活動する機会は設けてはいないが、弊社の他事業所との交流の機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	78%	22%	今後積極的に参加する予定にしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	44%	56%	連絡ノートで日々の様子を伝え、また必要である場合は連絡を取り、日常的なお子さんの変化や状況の理解を確認しながら共通理解へとつなげています。	お子さんの様子を保護者と共有出来るよう、話しやすい雰囲気や心掛け信頼関係を築けるよう努めていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	78%	22%	ペアトレ等行っていませんが、日ごろから保護者からの相談に随時応じています。困りごとなどないか気付けるよう心掛けています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	22%	78%	契約の際に自発管が説明しているほか、質問には随時対応しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	お子さんや保護者と話す機会を設け、意見を尊重し、今何につまずきがあるか等も含め意向を聴きながら支援してます。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	保護者に内容を見て頂き、説明する時間を設けるよう努めています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	89%	11%	定期的に面談の機会は設けていませんが、お子さんの様子を見ながら必要であると感じた際は保護者に連絡し、困り感はないか等確認するよう努めています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	89%	11%	夏祭りの開催行事等で交流の機会を設けていますが、保護者会の開催は今後、年間プログラムに取り入れて開催して行きたいと思えます。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	33%	67%	苦情マニュアルを掲示し体制を整えています。また迅速に対応し、職員に周知し、苦情相談書を記入し統括にも伝えます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎月2回外出支援や日々の活動をHPにブログを更新しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報が記載された書類などは鍵付きのキャビネットに保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	わかりやすく言葉や文字で表現し、それぞれに合った伝え方をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	89%	11%	公開した行事は行っていませんが、依頼があった場合は状況に合わせた対応を行います。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	44%	56%	避難経路図を掲示しています。大きなケガなどに素早く対応出来るよう、フロー図にしたマニュアルを掲示しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	年に2回以上、地震・火災を想定した避難訓練をしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	89%	11%	体調に配慮が必要なお子さんは、保護者に確認しながら指導にあたっています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	おやつ提供や、手作りおやつ行事がある為、事前に保護者に確認し調理場に誰もがわかるよう掲載しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	89%	11%	定期的な設備点検や避難訓練・救急時ほかそれぞれの対応は実行していますが、わかりやすくまとめた安全計画は職員会議等で周知してきます。	安全計画をわかりやすく活用出来るよう見直しを行っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	78%	22%	避難訓練等は、保護者と一緒に行っていないため、避難訓練を行う際は月のお便りで周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	89%	11%	事例が発生した時は、速やかに記録表に記入し、統括には報告するとともに、全職員が情報を共有しながら今後気を付ける点を確認しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	89%	11%	お子さんや保護者の様子で気になった事等、指導員の中で報告しています。虐待防止チェックシートを配布し自己点検及び利用者への目配りなど、職員間で虐待に関する意識	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	該当する場面が生じた場合は、児童発達支援ガイドラインに沿って進めます。		